■土井利位 古河藩主。老中。雪の結晶の観察記録「雪華図説」と、〈大塩平八郎の乱〉の鎮定で名を残した。

どいとしとしつら

初の横綱・・1789＝ 三河国刈屋で、大老土井利勝を始祖とする大大名の一族の領主土井利徳の四男に生れる。

松平定信引退1793＝ 4歳：

古事記伝・・1798＝ 9歳：

韓国反日暴動1907＝18歳：

浮世床・・・1813＝24歳： 下総国古河藩主・土井利厚の養子に迎えられ、家老の蘭学者鷹見泉石忠常から蘭学を学ぶうち、その影響を強くうけて自然研究に深い関心を持ち、

黒住教・・・1814＝25歳： 顕微鏡による雪の結晶の精密な観察を開始、

伊能測量終・1816＝27歳：

水野忠成老中1818＝29歳：

英船浦賀来航1822＝33歳： *古河8万石の家督を継いで、大炊頭となり、

シボク来日・1823＝34歳： 奏者番に就任して、幕政に関与し始め、

異国船打払令1825＝36歳： 寺社奉行に昇進、

シボク事件・1828＝39歳：

シボク追放・1829＝40歳： 一旦辞任し、

富籤流行・・1830＝41歳： 再任、

鼠小僧磔・・1832＝43歳： 最後まで描きためてきた結晶図を「雪華図説」にまとめ、

天保大飢饉始1833＝44歳： *將軍・朝廷や諸大名に謹呈、大いに評判となる。

高島砲術・・1834＝45歳： 大坂城代となり、

大塩平八郎乱1837＝48歳： *〈大塩平八郎の乱〉を鎮定し、1万石加増とともに、京都所司代に栄進。鈴木牧之が刊行しベストセラーになった「北越雪譜」に、「雪華図説」から多数の図が転載され、「大炊模様」ともはやされるようになる。

適塾オープン・1838＝49歳： 江戸に戻って、西丸老中となり、

蛮社の獄・・1839＝50歳： この年、家老鷹見忠常が親しくしてその肖像を描いて貰い、「慎機論」を預かった渡辺崋山がで逮捕される。

勸進帳初演・1840＝51歳： 本丸老中へと、超エリートコースを順調に歩み続けながら、

天保改革始・1841＝52歳： その後の京坂での研究を中心により精確な「続雪華図説」を刊行。

順天堂始・・1843＝54歳： 水野忠邦とともに、天保の改革を推進し、

天保改革終・1844＝55歳： 古河城に將軍家慶を迎えて、67年ぶりの將軍日光社参を実施。水野忠邦が失脚して、老中首座となるが、

阿部正弘首座1845＝56歳： *腕を振るえず、水野忠邦が復帰することになって、辞職し、

・・・・・1848＝59歳： 何度か古河に入って、藩政を見ていたが、

病気となり、家督を譲って没した。